

沖繩県議会議史 第三卷 通史編3

目次

口 絵	
発刊のことば	
凡 例	9
第一章 高等弁務官と立法院	
一九五八年(昭和三三)～一九六〇年(昭和三五)	
第一節 第四回立法院議員総選挙	13
第二節 第一二回及び第一三回立法院議会	22
第三節 土地問題の終息と革新勢力の分裂	28
第四節 法定通貨のドル切り替え	36
第五節 第一四回及び第一五回立法院議会	43
第六節 琉球政府計画移民	47
第七節 沖縄自由民主党結成と大田行政主席の任命	49
第八節 米軍統治強化と沖縄県祖国復帰協議会の結成	52
第九節 沖縄の米軍基地の価値をめぐる議論	62

沖繩県議会議長 喜納 昌春

第一〇節	第一六回立法院議會……………	71
第二章	ケネディ新政策と立法院	
	一九六〇年(昭和三五)～一九六二年(昭和三七)	
第一節	第五回立法院議員総選挙……………	79
第二節	第一七回及び第一八回立法院議會……………	82
第三節	キャラウエイ高等弁務官の就任……………	88
第四節	国会議員団の訪問……………	90
第五節	ケイセン調査団とケネディ新政策……………	96
第六節	キューバ危機と沖縄へのミサイル配置……………	100
第七節	第一九回立法院議會……………	102
第八節	国連植民地独立付与宣言と二・一施政権返還要請決議……………	105
第九節	公職選挙法案の審議……………	108
第一〇節	日本政府及び自民党の影響力の拡大……………	113
第一一節	深刻な基地被害……………	117
第一二節	労働運動の展開と人権の拡大……………	119
第一三節	第五期立法院の評価と展望……………	128
第三章	キャラウエイ旋風と立法院	
	一九六二年(昭和三七)～一九六五年(昭和四〇)	
はじめに……………		133
第一節	第六回立法院議員総選挙……………	134

第二節	日米琉新時代の幕あけ―ケネディ沖繩新政策―	136
第三節	第二〇回から第二三回までの立法院議會	142
第四節	キャラウエイ高等弁務官の沖繩政策	149
第五節	「自治神話譚」と立法院の対応	153
第六節	第二四回及び第二五回立法院議會	161
第七節	高等弁務官批判から大田主席批判へ	165
第八節	ワトソン高等弁務官就任と第二六回立法院議會	171
第九節	第二七回及び第二八回立法院議會	177
第一〇節	ベトナム戦争の激化と新しい基地問題	180
第一一節	佐藤首相の訪米と訪沖	182
第一二節	新たなる自治権の拡大	185
第四章	ベトナム戦争と立法院	
	一九六五年(昭和四〇)～一九六八年(昭和四三)	
第一節	第七回立法院議員総選挙	191
第二節	第二九回及び第三〇回立法院議會	199
第三節	裁判移送撤回要求運動	206
第四節	第三一回及び第三二回立法院議會	216
第五節	教公二法阻止闘争	225
第六節	第三三回から第三五回までの立法院議會	235
第七節	ベトナム戦争の拡大激化・米国の基地保有と全軍劣闘争の高揚	244

第八節	第三六回立法院議會	255
第九節	沖繩返還方法論	260
	おわりに	271
第五章	主席公選、復帰運動と立法院	
	一九六八年(昭和四三)～一九七〇年(昭和四五)	
	はじめに	277
第一節	第八回立法院議員総選挙	278
第二節	主席公選と三大選挙	281
第三節	第三七回から第三九回までの立法院議會	285
第四節	B52戦略爆撃機墜落事故と二・四ゼネスト	290
第五節	第四〇回及び第四一回立法院議會	299
第六節	毒ガス漏れ事故と全軍労働争の激化	311
第七節	佐藤訪米と七二年返還合意	323
第八節	第四二回立法院議會	334
第九節	七二年返還合意に基づく復帰対策	341
第六章	新生沖繩建設と立法院	
	一九七〇年(昭和四五)～一九七二年(昭和四七)	
	はじめに	347
第一節	沖繩住民の日本国政参加	349
第二節	コザ反米騒動	365

第三節	第四三回及び第四四回立法院議會……………	373
第四節	復帰を控えての制度移行準備……………	382
第五節	第四五回から第四八回までの立法院議會……………	396
第六節	沖繩返還協定、「沖繩国会」と復帰運動の高揚……………	397
第七節	ドル価格の下落と通貨交換……………	400
第八節	第四九回立法院議會……………	406
資料		
	議員名簿……………	414
	沖繩県議會関係年表……………	438
	あとがき……………	439
	編さん委員等名簿……………	441

